

## 第15回 番組審議会 議事録

開催日時：2017年11月30日（木）16：05～18:00

会場：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2階 市民活動団体活動室

委員総数：6人 出席：3人 欠席：3人

出席委員：水嶋純作、山内茂樹、今安博和

欠席委員：松本 泰、松井恭子、楠崇智

局側出席者：ジェネラルマネージャー 時岡浩二

放送局長 中西 進

制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

### 議 事

#### 1. 局からの報告事項

- ① 10月期番組改編について、導入が遅れたが11/16からJ-WAVE（東京の民間FM局）の購入番組を、一部の時間帯で放送しはじめた。
- ② 新パーソナリティ3名が研修を終了し、10/17から2名、10/20から1名が朝の番組を担当し始めた。なお、追加2名も研修中で12月中には研修終了見込みである。
- ③ 10/22～23（日～月）に台風21号が京都府北部をほぼ直撃し、FMまいづる（まいづるエフエムほうそう）も局員が演奏所に泊まり込み、随時台風情報を割り込み放送していた。しかし、深夜0時頃、送信所の商用電源（関西電力）が断続し、停電に至った。バッテリーに自動切り替えされ運用していたが、3時49分にバッテリー枯渇により停波した。風雨が収まりかけた朝6時頃に送信所に向かったが、山頂に向かう市道で崖崩れと電柱倒壊を発見、一旦演奏所へ戻り、装備を整えて現場へ戻り、崖崩れを徒歩で乗り越え送信所に到着した。送信所で備え付けのポータブル発電機を起動し10:27に放送を再開した。本件については11/22に近畿総合通信局へ重大事故報告書を提出した。対策として来年5月末までにバッテリーの増設をすることになっている。
- ④ FMまいづるの免許人でもある一般財団法人有本積善社は舞鶴市の指定管理者として五老ヶ岳公園の運営をしているが、11/18（土）に公園内のカフェから4時間余りにわたって地元音楽アーティストらの出演による公開生放送を行って好評を博した。また、12月には赤れんがパークでのクリスマスイベントの公開放送を計画している。
- ⑤ 来年のお正月に放送する「ラジオ年賀状」の募集を12/1（金）から始める。これは企業・団体からの30秒ぐらいのメッセージを募集し放送するもの。今年のお正月にも実施したが収入に一定の寄与があり、ラジオ利用によるCM出稿啓発にもなるので今回も行う。

## 2. 議題

### ① 番組審議

2017年11月13日(月)放送 Premium Kyoto  
パーソナリティ：ドリーム葉波（今井久美子）  
ゲスト：綾部市在住「粒々屋五彩」店主

#### 【主な意見】

- ・ 以前より随分と良くなった。話しの語尾が下がっていく傾向があったが、改善されてきた。
- ・ ゲストとのトーク、掛け合いが円滑に進んでいたが、ゲストの技量に助けられていた感がある。いつもは早くしゃべっているのに、今回はゆっくりしゃべっていた。
- ・ ジングルの使用として子供の声が出ていたのはよい。ただ、子供が誰であるかわからない工夫があるほうが演出効果を高める。
- ・ 自分で京都府北部の情報を発掘・発信している姿勢がよい。このような番組をコミュニティ放送で流すことは非常に意味がある。

### ② 他の番組等に関する意見等

#### 【J-WAVE（購入番組）導入について】

審議委員：J-WAVE を導入した理由について聞きたい。

⇒局回答

- ・ フィラー（録音音楽番組）の時間を減らしたいというのが主な理由である。早朝の時間もリアルタイムの情報が欲しい。現在のFM まいづるの制作能力ではこれを実現するのはむずかしいので、外部から番組を購入することにした。購入番組の選択肢としてはミュージックバード（衛星一般放送事業者）と J-WAVE（特定地上基幹放送事業者）があるが、ミュージックバードは隣市のエフエムあやべが導入しているのと、J-WAVE のほうがより洗練されたイメージなので、J-WAVE を採用した。
- ・ 舞鶴地域で聴ける FM 放送は NHK-FM 以外では  $\alpha$ ステーション（FM 京都）と FM まいづるしかない。 $\alpha$ ステーションとどう差別化するかが課題である。FM まいづるで足りないのは地域情報以外のコンテンツ力である。
- ・ 京都市内では他の複数放送局の選択肢があるのでコミュニティ局は週末はフィラー音楽だけでもよいが、舞鶴では何故音楽だけ流しているのかという声が多い。何か解決策はないかと考えたとき、J-WAVE という選択肢があった。
- ・ 本来は自局のクオリティの高い番組で時間を埋めていくのが筋ではあるが、レベルの高いもの・多様性をリスナーに聴いてもらい、選択肢のある中からリスナーが選んでもらえばよい。お互い切磋琢磨しないとラジオ自体が廃れていく。地域局よりコミュニティ局が聴かれているという例はある。FM まいづるとしてはカンフル剤になるかと思う。

審議委員：

- ・ 番組表を見たとき、正直言ってショックだった。J-WAVE の番組を表す黄色

の面積が多い。人に渡せない。コミュニティ放送の生命線を捨てたように映る。軸足をしっかり持って欲しい。

- ・クオリティの高いものを求める人もあるかもしれないが、身近な地域の情報のほうを求める人も多い。舞鶴の色を出して欲しい。
- ・番組表を見て、東京と舞鶴のどちらがメインなのかわからないぐらい J-WAVE の図柄が強調されている。図柄でも舞鶴を優先していることがわかるようにして欲しい。例えば、J-WAVE のパーソナリティの顔写真より FM まいづるのパーソナリティの顔写真（イラスト）を載せることによって、地元を優先していることがわかるようにして欲しい。でないと、パーソナリティの士気がさがる。
- ・αステーションも危機感があるときいている。イベント等では対抗ではなく協力してやるとよい。

### 【防災関連について】

審議委員：

- ・防災関連放送に関心のある市民等の組織作りをして行政への働きかけをすすめるなど、FM まいづるをバックアップする用意がある。具体的にできることを指示して欲しい。

⇒局回答

- ・市の防災無線を受信して緊急割込放送をする設備の導入のため、京都府の補助金を申請したが認められなかった。今後も舞鶴市と話しをするが、市民の応援をいただけることは心強い。

### 【その他】

審議委員：

- ・土/日曜日の再放送番組で、同じ番組が1～2時間間隔で放送されているのはよくない。

⇒局回答

- ・次回編成替えで考慮する。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2017年12月11日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2017年12月11日からホームページで公開した。